



きれいな花で歓迎を

国道45号沿いを飾るオレンジや赤の花々が村人や村を訪れる皆さんを歓迎しています。

花を管理しているのは、近所に住む中央区の大崎實さん(77)、妻のウメさん(80)、山下キヌさん(69)、古馬ヤエ子さん(64)、羽場かよ子さん(56)

の5人。古馬さんは「ここは、児童館やお寺の入り口になるので、好きな花で入り口をきれいに飾られたらいいと思いみんなではじめました」ときっかけを話していました。

日差しの強いこの時期に、皆さんは土の乾きを気にしながら、愛情を込めて熱心に水やりをしていました(写真)。



安全願いのミラー清掃

岩手県交通安全協会普代分会(太田岩藏会長)では、今年も交通安全運動の一環として八月八日、村内の路線約百五十カ所のカーブミラーの清掃奉仕を行いました。当日は太田会長ら会員九人が参加。会員らは軽トラックの荷台に脚立を設置し、国道45号、県道、村道など村内に設置されているほとんどのカーブミラーの汚れを丁寧に落としていました(写真)。

太田会長は「恒例で毎年行っていますが、汚れの落ちたカーブミラーが、皆さんの交通事故の防止につながれば幸いです」と交通安全を願っていました。

普代浜でトライアル

北緯40度線上を通る県北12市町村の山野をバイクで走破する第28回イーハトーブトライアル大会が8月28、29の両日行われました。

大会は4部門に全国から約750人が参加。その中の「クラシックコース」は28日、岩手郡安代町を出発点に普代村を折り返し、2日間で約350km、50セクションを走破するレースです。

今年も「クラシックコース」に104人がエントリー。普代浜に作られた山の急傾斜地を登る厳しいセクションに、18歳から60歳までのライダーらが甲高いエンジン音とともに、テクニックを競い合いました(写真)。

